

令和7年度 第6回一般社団法人三重県作業療法士会定例理事会 議事録

日時：令和7年10月10日（金）19:00～21:20

場所：WEB開催

出席者：佐藤明俊、宮坂裕之、牧野有華、大塚美奈子、松本周二、島崎博也、上野平圭祐、
富中真悟、渡邊誠（理事9名）

監事：橋本昌弘、田中一彦（監事2名）

書記：松本周二

部長、委員長、等：石崎健（規約表彰委員会委員長）、中村清美（倫理委員会委員長）、
山口英嗣（発達支援推進委員会委員長）、中西伸彰（災害対策委員会委員長）、
久保雅邦（学術部長代理副部長）、成川峰子（地域リハ部部長代理）、
萩野創（広報部ホームページ担当）

<協議事項>

1. 入退会者

新入会 9月末までで 2名

休会 1名

退会 2名

大塚理事より説明あり

承認

2. 後援・共催依頼

(1) 第15回伊勢地区医師会脳卒中・認知症市民公開講座後援依頼

日時：令和7年11月30日（日）10:00～

場所：三重県伊勢市御園町長屋2726 伊勢市ハートプラザみその

主催者：伊勢市、伊勢地区医師会

目的：認知症と脳卒中に対する正しい知識の啓発を行うことにより安心して暮らせる地域づくりに役立てること

(2) 公益社団法人日本介護福祉士会第32回全国大会・第23回介護学会 in みえ後援依頼

日程：令和7年11月27日（木）～28日（金）

場所：三重県営サンアリーナ

主催者：一般社団法人三重県介護福祉士会

(3) 第36回三重県理学療法学会後援依頼

日程：令和8年2月15日（日）

場所：対面形式予定

(4) 第25回三重県小児在宅研究会共催依頼

日時：令和7年11月2日（日）13:00～16:00

場所：三重大学臨床講義室第2講義室

主催者：三重大学医学部附属病院小児・AYAがんトータルケアセンター

目的：医療的ケアを必要とする子どもと家族が地域でよりよく過ごすための多職

種・期間連携体制整備

(5) 第 18 回三重県小児セラピー研究会共催依頼

日時：令和 7 年 12 月 7 日（日）13:00～16:20

場所：鈴鹿医療科学大学千代崎キャンパス

主催者：三重県小児セラピー研究会

承認

3. 40 周年式典での県士会表彰および施設表彰について

1) 県士会表彰

- ・県士会表彰規定第 9 条にて明記されていることもあるために今回は式典内で行う事とする。

- ・対象者：永田穰氏、橋本昌弘氏、田中一彦氏、大塚美奈子氏、藤井道美氏、佐藤明俊氏、北川知宏氏、松本周二氏、山本泰雄氏
石崎表彰規約委員長より授与

- ・案内状に関して：

石崎氏が案内文書（A4 サイズ、封書形式）を作成。

宮坂理事が送付担当。

佐藤会長・牧野理事が送付先住所の確認を担当。

※文面には以下を含める：

表彰理由（規定条文、功績内容）、式典日時・場所、出欠確認依頼

2) 特別表彰

表彰対象：ユマニテク医療福祉大学校

表彰理由は、①三重県唯一の OT 養成校として長年貢献

②卒業生が県内就職し、県士会の発展に大きく寄与

③事務局機能も担っていた実績あり。

記念品授与については、木製盾を検討

3. 休会届が提出されていない場合の委嘱状送付について（育休期間など）

休会届が提出されていない限り、育休中であっても委嘱状は発行可能。

ただし、活動内容・負担については以下の配慮を行う：

- ・各部長、委員長は、育休中の委員に対して業務量を調整し、育児に支障が出ない範囲で依頼する。

- ・単発的な協力（資料作成・オンライン対応など）は柔軟に対応可能。

- ・規約への明記は見送り。代わりに「運営細則」または「申し合わせ事項」として覚書的に記録する方向で検討。

- ・規約表彰委員会が文案を整理し、事務局と連携して記載場所を調整。

- ・事務局の委嘱状発行業務におけるチェック項目としても反映予定。

<補足意見>

- ・育休中でも本人の意思で活動継続する場合は、県士会員としての権利を尊重すべき。
- ・雇用主と研修会は別組織であるため、活動の可否は県士会内で判断。
- ・今後同様の問い合わせがあった際に備え、理事会での議論を記録に残すことが重要。

承認

5. 公式LINEのリッチメニューについて

【提案内容（広報部・萩野氏）】

- ・LINE 公式アカウントに「リッチメニュー」機能を追加。
- ・会員が LINE 上で以下の情報に即アクセス可能：
各種手続き、研修会カレンダー、お問い合わせ、地域活動・委員会資料など
(今後追加予定)

<費用・運用>

- ・導入費用：ゼロ円
- ・広報部員萩野氏が既に試験運用中のメニューをベースに展開可能。
- ・運用開始：理事会承認後、確認作業を経て1ヶ月以内に開始可能

<今後の対応>

- ・各部局からの掲載希望があれば、広報部へ依頼 → リッチメニューに追加。
- ・ホームページ閲覧数よりもLINEの方が利用率が高いため、情報発信の軸として活用。

<試験運用の目的と方法>

- ・萩野氏が作成した「OT 仕事関連用」LINE 公式アカウントを理事向けに試験運用。

試験運用の目的：

- ・リッチメニューの機能確認（各種手続き・研修会カレンダー・問い合わせなど）
- ・各部局からの要望を反映し、正式アカウントに統合
- ・試験用LINEは非公開。理事のみが登録・確認可能。
- ・意見収集後、松本理事が運用する三重県公式LINEに反映。

<補足>

- ・会員向けLINEは一本化される予定。試験用LINEはあくまで機能確認用。
- ・チャットにQRコードまたはリンクを共有 → 理事が登録 → 意見をフィードバック。

承認

6. 広報部より全国研修会の情報共有について

<現状と提案>

- ・萩野氏が構築した「研修会情報依頼フォーム」により、他県（群馬・和歌山・石川・愛知・奈良）と情報共有が進行中。
- ・三重県にも他県から月5件程度の研修会情報が届いている。
- ・研修会情報はLINE リッチメニューの「研修会」ボタンと連動予定。

<今後の方針>

- ・三重県からも他県へ情報発信を開始。
- ・発信対象は「県士会員以外も参加可能な研修会」に限定。
- ・目的：参加者増加、地域間交流、オンライン研修の活性化

承認

7. MTDLP 推進担当合同研修会

滋賀県、京都府、三重県 合同で MTDLP の研修会を令和 8 年度に開催したい。

日程：令和 8 年 8 月頃

時間：3～4 時間ぐらい

(1) 各県士会で各県士会員の活動費を支払うことができるか。

→滋賀県、京都府は活動した日の時間で支払っている。三重県は給与として年度末に支払っている

(2) 合同研修会を開く目的：MTDLP の知識を高める。広めるため。興味がある OT の集約のため。滋賀県と京都府の MTDLP 推進委員からは合同で参加の許可をもらっている。

- ・費用面・運営体制は各県で分担。
- ・今後の詳細は教育部と広報部で連携し、情報発信・参加者募集を進める。
- ・講師費：京都府が負担
- ・三重県は自県の協力者への謝金のみ負担（年度末支払い）
- ・参加費：2,000 円（京都府が徴収・運営）

理事会にて承認 → 来年度計画に組み込み

承認

8. 倫理委員会規定（処理の決定）について

<背景>

- ・全国的に倫理課題が増加傾向にある。
- ・協会主導で 47 都道府県に倫理担当者設置。
- ・三重県も対応フロー・規定整備が求められる。

<中村委員長より提案された規定案（素案）>

- ・倫理委員会規定（委員会の役割・構成）
- ・倫理処理規定（初期対応・相談体制・処理手順）
- ・会員処分規定（除名・退会・警告等）

<理事会での合意事項>

- ・三重県研修会として独自の倫理規定を策定
- ・協会規定を参考に、規約表彰委員会・三役・幹事で精査
- ・処分規定の必要性は慎重に検討
- ・完成次第、理事会報告 → ホームページ等で公開

9. 「もう限界 平和と社会保障を立て直せ！9.25いのちを守る」メッセージ依頼（保留案件）依頼主：三重県保険医協会

・三重県理学療法士会、三重県言語聴覚士会ともに保留となっているため当士会も保留とした。

保留

10. みえ福祉用具フォーラム 2025 での三重県作業療法士会賞について

- ・日程：令和7年11月14日（金）
- ・内容：三重県作業療法士会賞としてクオカード5,000円を贈呈
- ・毎年実施している慣例のため、今年も承認

承認

<報告事項>

1. 運転と作業療法委員会より

<研修会の参加者報告>

研修会について

(1) 日時：令和7年12月4日（木）19:30～20:30

開催場所：WEB開催

内容：教習所インストラクターからみた障がい者の自動車運転の特性について

講師：谷口 嘉男氏（桂土地株式会社上野自動車学校

交通安全コミュニティプラッツ MIE）

参加申し込み状況：15名程度

(2) 日時：令和8年1月31日（土）

場所：三重県身体障害者総合福祉センターにて改造車の実写体験予定

現在ポスター作成中 → 次回理事会で案内予定

運転と地域移動に関する協力者会議

日時：令和7年12月7日（午後・WEB開催）

参加予定者：宮坂 裕之氏（藤田医科大学七栗記念病院）

中川 裕規氏氏（藤田医科大学七栗記念病院）

森 順平氏（小山田記念温泉病院）

(3) 実態調査

令和7年10月15日（水）締切

各施設代表者が Google フォームで回答

2. 財務部より補正予算についての報告

<増額項目>

項目	旧予算額	新予算額	増額理由
----	------	------	------

項目	旧予算額	新予算額	増額理由
名刺印刷費	¥130,000	¥226,000	印刷枚数・単価増加による
地域リハ研修費	¥36,000	¥85,000	参加者増（1名→2名）による

<収支状況>

- ・支出合計：¥5,417,000 → ¥5,562,000（増額）
- ・収支差額：¥1,560,000 の赤字
- ・投資活動調整後：¥1,260,000 の赤字
- ・来年度繰越金：¥13,189,127

<補足>

- ・一般社団法人として予算を過度に余らせるのは望ましくない。
- ・必要な活動には積極的に予算活用を推奨。
- ・補正予算が発生した場合は随時報告、調整。

3. 組織部より

- ・三重県作業療法士会活動興味・協力調査

期間：令和7年10月16日（木）～10月31日（金）

目的：県士会活動への参加の現状把握と協力の可否、どの分野（部局・委員会）に興味があるか把握し、部局・委員会の人数調整や協力部員につなげる

調査方法：Google フォーム

周知方法：ホームページ、LINE@

5. 倫理委員会より

【2025 年度第 1 回士会・協会倫理連携担当者情報交換会 報告】

開催日：令和7年9月20日（土）13:30～15:30

開催場所：WEB 開催

参加者：47 都道府県士会・協会倫理連携担当者および協会の倫理委員会 4 名

6. 地域リハビリテーション部より

(1) 第2回認知症カフェ・回想法勉強会（座学）

日時：令和7年10月3日（火） 19:00～20:30 参加者：16 名

場所：長太の寄合所「くじら」の現地開催と WEB 開催

目的：①認知症カフェや OT の役割を学ぶ

②交流支援のためのコミュニケーション（回想法）のコツを学ぶ

内容：認知症カフェとは、認知症カフェ紹介と実習（メモリー“日永”カフェ、

まめまちカフェ）、コミュニケーションで使える回想法ネタ帳、

OT 認知症カフェ・グループ回想法

(2) 2025 年度第2回地域支援事業支援会議について

主催：日本作業療法士協会 地域社会振興部 地域支援事業課 地域包括ケア推進班

日時：令和7年10月4日（土）13:00～17:30・10月5日（日）9:30～15:00

開催方法：ハイブリット（会場：ビジョンセンターグランデ東京浜町）

選任者：伊藤 正敏氏（三重北医療センター菰野厚生病院）

成川 峰子氏（伊勢ひかり病院）

聴講者：竹内 元輝氏（志摩地域医療福祉センター）

夏目 紫帆氏（三重北医療センター菰野厚生病院）

実践者：浅井 巧氏（リハビリハウスみやま）

岡崎 靖弘氏（熊野病院）

7. 災害対策委員会より

(1) 三重県と三重 JRAT との災害時協定締結について

1) 三重県との協定締結（9月26日）

JRAT（日本災害リハビリテーション支援協会）との協定

副知事・課長出席にて締結式実施

活動保証（保険・日当等）も整備済み

2) 災害対応規定の改定（協会より）

支援活動の基本理念・災害種別・対応手順が明文化

支援金制度・会費免除制度の整備

BCP（事業継続計画）策定が全国的に推奨されている

三重県でもモデルを参考に策定準備中

3) JRAT と協会災害対応の違い

JRAT：県との協定に基づく派遣単位

協会災害対応：安否確認・支援金・情報集約など

両者を並行して対応する必要あり

(2) 日本作業療法士協会主催の防災訓練について

<72時間経過報告>

北勢ブロック：19/53施設、中勢ブロック 26/49施設、

南勢ブロック 24/37施設

次回：2週間後・1ヶ月後の報告予定

8. 渉外部より

<刑務所との協定締結>

- ・個人情報の取り扱いに関する協定書を双方で承認
- ・今後も継続的な活動予定 → 進捗は理事会で報告

理事会：令和7年11月14日（金）19:00～

場所：WEB開催